

認知症サポーター養成講座を実施！

掛川市の「健康福祉部 長寿推進課」の要請で8月17日(月)に上内田学童保育所児童を対象に「認知症サポーター養成講座」を実施しました。

2025年には高齢者(65歳以上)の5人に1人(約2割)が認知症になると推測されているそうです。これからこの認知症の人達とどう接していけばいいのか、それは認知症のいる家族だけでなく、その周りにいるみんなが考えなくてはならない問題です。

掛川市では、認知症の人やその家族にやさしい地域づくりを目指し、認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進を図ることを目的として「認知症サポーター養成講座」に取り組んでいます。



養成講座修了の証「オレンジリング」
出席者全員いただきました

「認知症サポーター」とは？

認知症の方が年々増加していく中、認知症になっても地域で自分らしく、自立した生活が続けられるまちづくりが求められています。そのためには、より多くの方々が認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やその家族に対して温かい目で見守ることが大切です。「認知症サポーター」は特別なことをする人ではなく、認知症の人やその家族の「応援者」です。

小・中学生を対象とした、この講座はすでに平成21年から実施していて今年で12年目になります。今回は上内田学童保育所で実施することになりました。

「小・中学生が認知症を理解する意義」

最近では核家族化により、祖父母等と同居する家族が減少し、高齢者とのつきあい、とくに認知症の人と接する経験を持つことも減少しています。小・中学生にとって認知症の人の介護や具体的な支援をすることは現実的には難しいと思われませんが、認知症について正しく理解すれば、暖かい目で見守ることやちょっとした手助けはできるのではないのでしょうか。



しおりづくりの作業中です

当日は「ゲーム」「認知症の話し」「寸劇」「工作(しおりづくり)」「まとめ・感想」と変化に富んだ内容であったという間の1時間30分の講座でした。最後に参加者全員が「オレンジリング」をいただいて終了となりました。

【事後談】

「養成講座」実施スタッフから「上内田学童保育所の児童の受講態度は素晴らしかったよ！」とのお褒めの言葉も頂きました。

グラウンドゴルフの練習会

会場 上内田福祉事業所
9/5(土) 9/19(土) 9/28(月)

「3密」を避け予定通り実施しています!

午前9時20分頃スタート
9/12(土)は上内田の大会予定